

提案大学	金沢大学
連携大学	富山大学、福井大学、北陸先端科学技術大学院大学

EPOCH

先端研究基盤刷新事業

EPOCH金沢大学サイエンスコモンズを基軸とした研究基盤刷新プロジェクト

本学の強みと実績

トップダウン型
迅速な経営判断と組織改革

WPI事業・先端分析機器開発
未踏ノ領域を開拓する世界的実績

実効的なデータ利活用体制
NIIと連携・全国を牽引するデータ基盤の確立

コアファシリティ化の先駆的実績
コアファシリティ構築支援プログラム:S評価(中間)

エビデンスに
基づく立案・導入・
更新システム
設備共同利用
オンラインシステムの活用

世界水準をターゲットとした
卓越技術職員
Iハシリエリストの育成
先端計測を先鋭化した
WPI拠点と連携

年功序列給から
能力重視給への
質的転換
技術職員・URAが
切磋琢磨する環境整備

目的積立金を
活用した多年度
繰越システム
自主的な
機器メンテナンス

産学/産産協創
オープン技術ラボ
本学と企業の技術者が
集う交流・研鑽の場

北陸ファシリティ・
技術人材
ネットワーク
地域連携・人材シェア
技術伝承・収益化

設備・人材・データを統合した研究基盤の重層化

「揺るがない基盤」
の構築・定着

① 大学・国産メーカーが連携した先端機器開発

先端計測機器・汎用
的共用機器の開発

・国産・地域メーカーとの共創企画



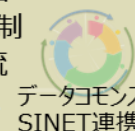
共創企画室
(未来知実証センター)

機器の運用・保守

・主要機器メーカーとの包括
協定に基づく産学保守体制
・企業技術者との技術交流
・共用機器の運用・講習

研究データの管理・利活用

・情報・図書の機能融合
・オープンサイエンスシステム
・統一データフォーマット・試作
システムの導入



② 全国を先導するコアファシリティ構想 -サイエンスコモンズ-

サイエンスコモンズ創設

・「活用・研鑽」の共有化
・設備・機器の最大効率化
・人が集まる
魅力的な場



技術職員・URA・事務職員

・研究支援の三位一体改革
・人材育成・人材循環の
エコシステム化による持続化

AI&データ for 研究基盤

・事務・財務の最大効率化
・データガバナンス、API連携
・クロスアポイントメント活用

学長直轄・戦略改革室で強力に推進

③ 地域・広域・国際の3層ネットワークの構築 -北陸から世界へ-

「地域」の一体的刷新

・金沢大学、富山大学、
福井大学、JAISTが中核
・北陸ファシリティ・人材ネットワーク

「広域」：全国への展開

・GoodPracticeの展開
・全国の研究基盤体制
確立の牽引

「国際」の日常化

・先端計測技術が拓く
世界視野の連携・展開
・国際市場・国際標準化
への運用基盤整備

研究基盤協議会・
国立情報学研究所
主要ネットワークとの連携

「研究基盤ループリック」の提唱・活用

主な
KPI
指標

・競争的研究費の使途の変容促進
・共用を促すインセンティブ設計
・スペースの集約
・民間企業との共創・協定、AI導入 等

政策目標
の達成

・研究設備・機器の共用化率
30%以上
・研究時間割合 50% (+1h/日)
・財務自走化の仕組み構築